

2013 年度

(4 月入学)

学生募集要項

情報セキュリティ研究科

Graduate school of Information Security

博士前期課程(修士課程) [2 年制]

Master's program

< 追加募集用 >

情報セキュリティ大学院大学

Institute of Information Security

<http://www.iisec.ac.jp/>

目 次

| | ページ |
|---------------------------|-----|
| 情報セキュリティ大学院大学アドミッション・ポリシー | 1 |
| 博士前期課程[2年制]修了要件 | 2 |
| 1. 募集人員 | 3 |
| 2. 選抜日程 | 3 |
| 3. 試験会場 | 3 |
| 4. 出願資格 | 4 |
| 5. 選抜方法 | 6 |
| 6. 面接実施時間および内容等 | 6 |
| 7. 合格発表 | 6 |
| 8. 出願手続 | 7 |
| 9. 入学手続 | 9 |
| 10. 学費等納入金 | 9 |
| 11. 奨学金 | 9 |

入学試験に関するお問い合わせ先

情報セキュリティ大学院大学 入試事務係

TEL:045-311-7784

(平日 9:00~20:00 土曜日 9:00~17:30)

E-mail: iisec@iwasaki.ac.jp

情報セキュリティ大学院大学アドミッション・ポリシー

情報科学技術は社会全体に大変大きなインパクトを与え、今後とも社会の中軸を支える重要な技術であると言えます。いまや情報ネットワークシステムは人類共有のインフラストラクチャとしてますます重要な社会的基盤となりつつあります。これにより、生活・経済活動におけるさまざまな利便性が向上する一方、システムの安全性や信頼性に対する脆弱性や情報そのものの暴露、漏洩、改ざんなどのリスクも増大しており、広い視点に立った情報セキュリティの重要性がますます高まっています。しかしながら、これまで既存の大学・大学院においては情報セキュリティに関する教育、研究が体系的になされておらず、当該分野に関する高度な技術、知識、分析能力等を有する人材の不足が深刻な問題となりつつあり、今後の情報社会発展にとって大きな足かせとなり兼ねません。

本大学院大学は、技術、管理・運営、法制度、情報倫理等広範な領域を対象とする学際的総合科学である情報セキュリティについて、それぞれの分野の第一線で活躍する研究者および実務家の力を結集し、高信頼性社会の実現を担う高度で専門的な知識・技術と高い倫理観を備えたプロフェッショナルとして、情報セキュリティにおける技術面での対策を担う情報セキュリティエンジニアと情報セキュリティの運用・管理面でのリーダーとなる情報セキュリティマネージャを養成いたします。

入学者選抜にあたっては、入学後の研究を推進していくうえで必要な基礎学力はもちろんのこと、情報社会に対する倫理観と問題意識、そして、真摯な態度で研究に臨む積極性や主体性を重視いたします。これまでの専門分野に必ずしもとらわれず、新しいテーマに関心があり、さまざまなバックグラウンドを持つ仲間と切磋琢磨しながら、自己実現と社会貢献を目指す方々の入学を希望しています。

■博士前期課程[2年制]修了要件

以下の3つの条件をすべて満たすことを修了要件とする。

1. 標準修業年限：2年 ※教授会が優れた研究業績を上げたと認めた者については1年以上
2. 所要単位数：30単位以上（【別表】参照）
3. 修士論文審査および最終試験

【別表】

| 科目区分 | 授業科目名 | 履修区分 | 単位数 | 博士前期課程 (2年制) | 博士前期課程 (1年制) |
|-------------|---------------------------------|------|-----|-----------------|-----------------|
| 専攻 | 情報セキュリティ輪講Ⅰ | 必修 | 2 | 24 | 42 |
| | 情報セキュリティ特別講義 | 必修 | 2 | | |
| | 暗号・認証と社会制度 | 選択 | 2 | | |
| | 暗号プロトコル | 選択 | 2 | | |
| | アルゴリズム基礎 | 選択 | 2 | | |
| | 数論基礎 | 選択 | 2 | | |
| | 暗号理論 | 選択 | 2 | | |
| | 計算代数 | 選択 | 2 | | |
| | 個人識別とプライバシー保護 | 選択 | 2 | | |
| | インターネットテクノロジー | 選択 | 2 | | |
| | 不正アクセス技法 | 選択 | 2 | | |
| | ネットワークシステム設計・運用管理 | 選択 | 2 | | |
| | セキュアシステム構成論 | 選択 | 2 | | |
| | 情報デバイス技術 | 選択 | 2 | | |
| | 情報システム構成論 | 選択 | 2 | | |
| | オペレーティングシステム | 選択 | 2 | | |
| | セキュアプログラミングとセキュアOS | 選択 | 2 | | |
| | プログラミング | 選択 | 2 | | |
| | ソフトウェア構成論 | 選択 | 2 | | |
| | セキュアシステム実習 | 選択 | 2 | | |
| | 情報セキュリティマネジメントシステム | 選択 | 2 | | |
| | セキュリティシステム監査 | 選択 | 2 | | |
| | セキュリティ管理と経営 | 選択 | 2 | | |
| | リスクマネジメント | 選択 | 2 | | |
| | 組織行動と情報セキュリティ | 選択 | 2 | | |
| | 統計的方法論 | 選択 | 2 | | |
| | 統計的リスク管理 | 選択 | 2 | | |
| | リスクの経済学 | 選択 | 2 | | |
| | Presentations for Professionals | 選択 | 2 | | |
| | マスメディアとリスク管理 | 選択 | 2 | | |
| セキュア法制と情報倫理 | 選択 | 2 | | | |
| 法学基礎 | 選択 | 2 | | | |
| 知的財産制度 | 選択 | 2 | | | |
| 国際標準とガイドライン | 選択 | 2 | | | |
| セキュリティの法律実務 | 選択 | 2 | | | |
| 情報セキュリティ輪講Ⅱ | 選択 | 2 | | | |
| 特設講義 | 選択 | 2 | | | |
| 研究指導 | 研究指導 | 必修 | 6 | 6 | — |
| | プロジェクト研究指導 | 必修 | 4 | — | 4 |
| 計 | | | | 30 | 46 |

1. 募集人員

| 専攻名 | 募集人員 | 標準修業年限 | コース |
|------------|------|--------|---|
| 情報セキュリティ専攻 | 若干名 | 2年 | <ul style="list-style-type: none"> ・暗号テクノロジーコース ・システムデザインコース ・法とガバナンスコース ・セキュリティ/リスクマネジメントコース |

2. 選抜日程（一般選抜・社会人特別選抜とも）

| | 募集人員 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 入学手続締切日 (9 ページ参照) |
|---------|------|---|---------------|---------------|----------------------|
| F 日程 | 若干名 | 2013年3月14日(木) 2013年3月21日(木) 【必着】 | 2013年3月25日(月) | 2013年3月26日(火) | 2013年4月1日(月) |

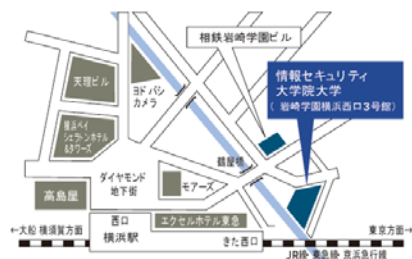
※募集人員数は一般選抜と社会人特別選抜を合計した人数です。

出願資格事前審査対象者の審査日程は下表のとおりです。

| | 審査受付期間 | 結果発送日 |
|-------------|-------------------------------|---------------|
| F 日 程 | 2013年3月5日(火)～2013年3月8日(金)【必着】 | 2013年3月11日(月) |

3. 試験会場

情報セキュリティ大学院大学校舎 ※横浜駅きた西口徒歩1分
(〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1)



(横浜駅きた西口より徒歩1分)

4. 出願資格

4-1. 一般選抜

次のいずれか一つに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者または 2013 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者または 2013 年 3 月 31 日までに学士の学位を取得見込みの者 [注 1]
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者または 2013 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者または 2013 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 2013 年 3 月 31 日において学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上(休学期間を除く)在学した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得見込みであると認めたもの [注 2]
- (7) 外国において学校教育における 15 年の課程を修得した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの [注 4]
- (8) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの [注 4]
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者 [注 4]
- (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2013 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 [注 3, 4]
- (11) 大学卒業までに 16 年を要しない国の大学を卒業した者で、次の 2 つの条件イ)とロ)を満たし、かつ、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者 [注 4]
 - イ) 大学教育修了後、日本国内または外国の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として 1 年以上研究に従事した者、または、2012 年 3 月 31 日までに 1 年以上研究に従事する見込みの者
 - ロ) 2013 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (13) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

[注 1] 上記(2)における 2013 年 3 月 31 日までに学士の学位を取得見込みの者とは、学位規則第 6 条第 1 項の規程に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定した短期大学および高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、2012 年 10 月までに大学評価・学位授与機構に学位の授与の申請をした者です。

[注 2] 上記(6)によって出願を希望する者は、事前審査を行うため、下記の①から④を、書留郵便で本学入試事務係へ送付してください(3 ページ記載の期間内必着)。

- ①出願資格認定申請書（書式 4）
- ②成績証明書
- ③当該大学の履修基準を示す書類あるいはその写し
- ④350 円切手（速達料金を含む）を貼付した住所（日本国内）、氏名および郵便番号を明記した返信用の封筒（長形 3 号）

審査の結果については、本人宛に郵便（速達）にて送付します（発送日は 3 ページに記載）。
なお、可否の問い合わせには一切応じません。

[注 3] 上記(10)の対象となる者は、主として「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者」です。

[注 4] 上記(7)、(8)、(9)、(10)、(11)によって出願を希望する者は事前審査を行うため、下記の①～⑥を、書留郵便で本学入試事務係へ送付してください(3 ページ記載の各期間内必着)。

- ①出願資格認定申請書（書式 4）
- ②出願資格認定調書（書式 5）
- ③最終学歴の卒業証明書または在学期間証明書
- ④最終学歴の成績証明書
- ⑤研究経験および研究業績書（様式は任意。なお、著書、卒業論文、報告書などがあれば、添付することを認める）
- ⑥350 円切手（速達料金を含む）を貼付した住所（日本国内）、氏名および郵便番号を明記した返信用の封筒（長形 3 号）

審査の結果については、本人宛に郵便（速達）にて送付します（発送日は 3 ページに記載）。
なお、可否の問い合わせには一切応じません。

4-2. 社会人特別選抜

次の(A)、(B)、(C)のいずれかに該当する者で、「4.出願資格」『4-1.一般選抜』の(1)～(13)により、学士の学位を有する者(2012年3月31日までに取得見込みの者)または本学が認めた者[注 5]

- (A) 官公庁、企業、教育機関、非営利団体等に正規職員として 1 年以上勤務する者（2013 年 3 月 31 日に在職期間が 1 年以上となること）
- (B) 官公庁、企業、教育機関、非営利団体等から推薦を受けて派遣され、かつ、入学後も同一職場内での身分を有する者
- (C) その他、本学が社会人として認めた者[注 6]

[注 5] 「4.出願資格」『4-1.一般選抜』の(6)～(11)で出願を希望する者は事前審査が必要です。[注 2]または[注 4]に従って、必要な書類を提出してください。

[注 6] 詳細については、本学入試事務係にお問い合わせください。

5. 選抜方法

5-1. 一般選抜

面接、および、学業成績、志望理由書、小論文等出願書類審査を総合して行う。

【小論文課題】以下に与えるⅠ.、Ⅱ. のいずれか一方の課題について論ぜよ。

- Ⅰ. 情報科学・情報工学に関連する技術等をひとつ選択し、これについて解説した後に、この課題や考えられる応用・改良等について考察せよ。
- Ⅱ. 情報セキュリティ関連の、製品、システム、サービス、制度、事件・事故などの中から印象に残っている事例について述べよ。

5-2. 社会人特別選抜

面接および研究計画書等出願書類審査を総合して行う。

6. 面接実施時間および内容等

【実施時間帯】 ー各試験日共通ー 10:00～19:00

※上記時間帯において1人30分程度行います。

※集合時刻については志願者毎に個別に指定し、受験票送付時にお知らせします。

| 区 分 | 面接内容（使用言語は日本語とします） |
|---------|--|
| 一般選抜 | ①出願書類として提出された小論文に関して、5分以内でプレゼンテーションをしていただきます（事前に準備をしておいてください）。ただし、資料や機器は用いず口頭のみとします。 ②大学等における卒業研究、専門分野に関する基礎学力、進学の実機および入学後の研究課題等について、質問します。 |
| 社会人特別選抜 | ①これまでの業務経歴、業務内容、研究業績等について、5分以内でプレゼンテーションをしていただきます（事前に準備をしておいてください）。ただし、資料や機器は用いず口頭のみとします。 ②進学の実機および研究計画書等出願書類について、質問します。 |

7. 合格発表

【合格発表日】 [F日程] 2013年3月26日(火)

選抜結果は合否ともに本人宛に郵便（速達）にて送付します。

また、合格発表日当日午前9時より合格者の受験番号を本学校舎にて掲示します。併せてインターネット上でも発表いたします。（合格発表 URL は試験日当日にお知らせします。）

なお、合否の問い合わせには、一切応じません。

8. 出願手続

8-1. 出願書類

各書式は本学ホームページ (<http://www.iisec.ac.jp/>) からダウンロードすることが可能です。

| No | 出願書類 | 注意事項 | 一般 選抜 | 社会人 特別選抜 |
|----|-----------------------------------|---|----------|------------------------------|
| 1 | 入学願書 | 本学所定のもの。(書式 1add) | ○ | ○ |
| 2 | 卒業(見込)証明書 | 出身大学等作成のもの。(出願資格(6)で出願する者は在学証明書) | ○ | ○ |
| 3 | 成績証明書 | 出身大学(在籍大学)等の学長または学部長等により作成されたもの。 | ○ | ○ |
| 4 | 写真 | 縦 3cm×横 2.5cmのもの 2枚。1枚を入学願書に貼付し、もう 1枚は入学願書にクリップ止めして提出(裏面に氏名を記入すること)。出願前 3ヶ月以内に撮影したもの。カラー、白黒、スピード写真いずれでも可。 | ○ | ○ |
| 5 | 志望理由書 | 本学を志望する理由と、現在までの学業との関係および入学後の希望研究内容について 1,000字程度で記載したもの。(書式 2) | ○ | — |
| 6 | 小論文 | 6ページ記載の小論文課題Ⅰ. またはⅡ. のいずれか一方を選択し、2,000字程度で作成すること。(A4で様式は任意) | ○ | — |
| 7 | 研究(希望)計画書 | 本学で行いたい研究内容、抱負、研究計画および修了後の進路について 2,000字程度で記載したもの。(書式 3) | — | ○ |
| 8 | 職務(研究)報告書 | 現在および過去にたずさわった職務・研究について記入すること。(A4で様式は任意) | — | ○ |
| 9 | 在職証明書 | 出願資格(A)に該当する者は提出のこと。現在または過去の勤務先により大学等卒業後 1年以上の勤務経験を証明する文書。(様式は任意) | — | ○ 出願資格(A) に該当する 者のみ |
| 10 | 人物推薦書 | 出願資格(B)に該当する者は提出のこと。官公庁、企業、教育機関、非営利団体等の所属長や人事担当者またはそれに準ずる責任者が作成し厳封したもの。(書式 6) | — | ○ 出願資格(B) に該当する 者のみ |
| 11 | 入学検定料振込控 えの写し | 金融機関窓口・ATMで発行される振込控えの写し(8-4.「入学検定料」を参照のこと) 【入学検定料】35,000円 | ○ | ○ |
| 12 | 返信用封筒 2通 (受験票送付および 選抜結果連絡用) | 本学所定の封筒もしくは長形 3号封筒に住所・氏名・郵便番号を記入の上、350円切手(速達料金を含む)を貼付し、2通提出すること。(受験票は本学が作成します) | ○ | ○ |

※日本語または英語以外の言語で書かれた証明書、文書、資料等には、すべて日本語訳を添付すること。

8-2. 出願上の諸注意

- ・出願資格(2)「学士の学位を授与された者」により出願する者は、大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を、また、「学士の学位を取得見込みの者」により出願する者は、「大学評価・学位授与機構に学位授与の申請をしている」旨を明記した証明書(様式は任意。出身大学の学長または出身学校長が作成厳封したもの)を提出してください。
- ・出願資格(3)または(4)により出願する者は、修了(または修了見込み)証明書及び成績証明書を提出してください。
- ・出願資格(5)により出願する者は、その有資格証明書および成績証明書を提出してください。
- ・出願資格(6)～(11)による出願予定者は、資格認定事前審査時に提出した書類と重複する書類の提出を免除します。
- ・外国人の方は、登録原票記載事項証明書(出願前3ヶ月以内に交付されたもの)または入国査証の写しを提出してください。また入学手続時まで、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において、大学院在学に支障のない在留資格を有するようにしてください。
- ・出願手続後の提出した書類の内容変更は認めません。
- ・いったん提出された出願書類および入学検定料は一切返還しません。
- ・合格者には入学するまでの間に健康診断書を提出していただきますので予めご了承ください。なお、受験や就学に際して影響があると思われる疾患、障害等をお持ちの方は必ず出願前に申し出るようにしてください。

8-3. 出願方法

出願書類の受付は郵送のみです。郵送は書留郵便とし、本学所定の封筒もしくは角型2号封筒に出願書類一式を入れて、本学入試事務係へ郵送してください(3ページ記載の締切日必着)。受付期限後到着のものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。願書受付後、受験票等を郵送で交付いたします。

宛 先 : 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-14-1
情報セキュリティ大学院大学 入試事務係

8-4. 入学検定料

・入学検定料 35,000 円の納入は銀行振込とします。以下のいずれかの銀行口座にお振込みいただき、振込控えの写し(コピー)を他の出願書類と一緒に提出してください。振込手数料は志願者ご本人の負担となります。

【注意】

誤って右記以外の口座に振込んでしまった場合、本学では対処することができませんのでご了承ください。(誤って振込んでしまった場合の返金については、各お取引銀行にお問い合わせください)

(ガク) イワサキガクエン ケンテイリョウグチ

[口座名] 学校法人岩崎学園 検定料口

- ・三井住友銀行 横浜駅前支店 (普) No. 5535638
- ・横浜銀行 横浜駅前支店 (普) No. 1081583

9. 入学手続

- ・合格者には、合格通知および入学手続書類とともに本学所定の振込用紙を同封しますので、入学手続金の納入を所定の期間内（3 ページ参照）に完了してください。所定の期間内に入学手続金の納入がない場合は、棄権したものとみなします。
- ・官公庁、企業、教育機関、非営利団体等に在職している者は、入学手続の際、所属長または代表者の就学承諾書を原則として必要としますので、予め用意してください。（様式は任意。ただし、所属長等作成による「人物推薦書」（書式 6）を出願の際に提出済の方は、就学承諾書の提出は不要です。）
- ・入学手続完了者には、書面で入学許可を通知します。
- ・入学手続完了後やむを得ない事情により入学を辞退する場合は、所定の期日までに授業料等返還手続を行ってください。納入済みの学費のうち入学金相当分を除く授業料等を返還いたします。詳細は合格者に対して送付する入学手続書類中「入学手続について」を参照してください。

10. 学費等納入金

【初年度学費】

[単位 円]

| 項 目 | 入 学 金 | 授 業 料 | 施設設備費 | 実 習 費 | 計 | 納入期限 |
|--------------------|---------|-----------|---------|--------|-----------|------------|
| 年 額 | 300,000 | 1,000,000 | 150,000 | 50,000 | 1,500,000 | |
| F 日 程 入 学 手 続 金 | 300,000 | 500,000 | 75,000 | 25,000 | 900,000 | 2013年4月1日 |
| 後学期分（共通） | — | 500,000 | 75,000 | 25,000 | 600,000 | 2013年9月30日 |

- ・学費の領収書は、銀行より手渡されたもの以外にはあらためて本学から発行しませんので、大切に保管してください。
- ・2年次の学費は、入学金を除いた金額となります。

11. 奨学金

学業成績、人物ともに優秀であり、経済的理由により学資が不足する学生に対して、下表の奨学金制度があります。詳細はお問い合わせください。

①日本学生支援機構

| 種 別 | 貸与月額（※2012年4月現在） |
|-------------|------------------------------|
| 第一種奨学金(無利子) | 50,000 円または 88,000 円（博士前期課程） |
| 第二種奨学金(有利子) | 5, 8, 10, 13, 15 万円のなかから選択 |

②岩崎学園奨学金

| 貸 与 額 | 募集人数 |
|-------------------|------------------|
| 年額 500,000 円（無利子） | 若干名（収容定員の 20%以内） |

その他、各種団体・民間等の奨学金(給付または貸与)は募集があり次第、学内でご案内いたします。